

中学校第2学年 国語科学習指導案

学習指導者 観音寺市立中部中学校 木村 香織

1 単元名「徒然草」 (新しい国語2 東京書籍)

2 単元計画 (総時数 6時間【本時4/6】)

(1) 作品の成立背景を理解し、序段と第五十二段「仁和寺にある法師」を読む。(2時間)

(2) 第百八十八段について考える。(2時間)

(3) 現代版「徒然草」を書く。(2時間)

3 授業の見どころ

子ども自身が選択したり、判断したりすることが意欲喚起につながると考え、第百八十八段に登場する人物の生き方について「肯定派」と「否定派」に分かれて自分の考えを語り合う場を設定する。また、発表の形態をタブレット、班、全体と多様化することで、全員が発言する機会を確保する。

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・第百八十八段の内容から登場人物の生き方について考えることができる。
- ・根拠をもって自分の考えを伝えることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と生徒の意識	教師の支援及び評価
1. 学習課題を確認する。	【学習課題】 第百八十八段の人物の生き方をどう思う？
2. 資料の内容を確認する。	
指導の重点項目 3. 学習課題について考える。 (1) 個人で考える。 肯定派 ・ 登場人物は法師になるためにいろいろ考えているので、「何事にも準備が大切」ということじゃないかな？ ・ この話は「意外な才能が開花した」といういい話。 否定派 ・ 私は「本来やるべきことができていない！」って、突っ込んでいるように思うな。 ・ 説教師になるために一番大切なことをしていないのでは？「説教師は説教を学べ」とアドバイスしたい。 (2) 班で考える。 (3) 全体で考える。	・ 本文に登場する人物の生き方について肯定派は赤、否定派は青の付せん機能を使ってタブレットに入力させる。 ・ キーワードのみを書かせることで、質問したいという意欲を喚起する。 ・ タブレットでそれぞれの考えを共有し、印象に残ったものや質問してみたいものをワークシートにメモさせる。 ・ 班で印象に残ったものや質問したいものなどを共有させる。 ・ 全体での交流前に同じ立場の者同士で意見交換する時間を作り、自信をもって意見が言える場を作る。
4. 本時の学習を振り返る。	・ 他者との意見交換を通して、最終的に自分がどう考えたかを振り返りに書かせる。